

**「国立天文台周辺のまちづくりに関する説明会」（令和4年7月開催分）  
での主なご意見及び回答について**

No	質問・意見の骨子	回答の骨子
<b>(1) 羽沢小学校の移転に関すること</b>		
<b>ア 肯定的な内容</b>		
1	全体の方向としては良いと思うが、整備期間の想定を示してほしい。	今後予定する自然環境調査、遺跡の試掘調査を踏まえ、土地利用基本構想の中で示していきます。
2	天文台の緑の中で子どもたちが学べる夢がある良い計画だ。	
3	説明のあった内容については、非常に前向きな判断だ。	今回の国立天文台と連携したまちづくりの中で、新たな防災拠点の創出やスクール・コミュニティの創造、跡地利用での商業施設の誘致に取り組みます。
4	教育のソフト面を拡充してほしい。	スクール・コミュニティの創造や学校3部制の推進とともに、国立天文台の先生方とも連携して教育の拡充を進めていきます。
5	帰りはバラバラで下校するため、スクールバスはよく検討を。	スクールバスを一定間隔で運行し下校するなど、児童の安全安心の確保に向け検討していきます。
6	電気自動車をスクールバスで導入すると社会へのPRになる。	環境配慮の視点も含めて検討していきます。
7	大型バスが止められるようにしてほしい。	貴重なご意見として承り、今後の土地利用で検討します。
8	おおさわ学園として七中も一緒に考えた方がよいのではないか。	七中の在り方は今後の検討課題となりますが、引き続き、おおさわ学園の一体的なコミュニティ・スクールによる教育を推進してまいります。
<b>イ 慎重・否定的な内容</b>		
1	小学校が移転すれば、かなりの森林が伐採されるのではないか。	新しい学校の整備とともに、天文台の森を見て楽しみ、活用して楽しめる、里山としての保全・再生を検討していきます。現在の竹林の一部は管理が行き届いていないところもあり、都市の中の緑は一定の管理・再生の視点も必要と考えています。
2	今後の児童数推計はどう考えているか。長期スパンで考えると、現段階で統合する必要や費用負担する必要があるのか。	現状は、羽沢小・大沢台小とも各学年2学級であり長期的には減少傾向にありますが、学校を整備すると人口が増える事例もあり、そのような可能性も含め検討していきます。
3	現校舎の地震対策ができていれば、水害時も利用できるのではないか。	都は調節池の整備を進めていますが、浸水ハザードマップに示されている降雨に対して安全が確保されるものではありません。
4	小学校が移転するのは問題。慎重に考えないといけない。	安全・安心な新小学校を目指すとともに、通学距離が遠くなる低学年の子どもたちの負担軽減策として、スクールバスの運行等慎重に検討していきます。
5	今、危険な状態の羽沢小の課題について議論がされていない。	都による調節池の拡充のほか、市内や隣接市（味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザ等）の避難所への早期避難の呼びかけ、防災NPO設立による共助の取り組み、要支援者名簿の整備など総合的な防災・減災のまちづくりに取り組んでいます。
6	野川大沢調節池の拡張工事が終わったので安全になり移転は必要ないのでは。	都は調節池の整備を進めていますが、浸水ハザードマップに示されている降雨に対して安全が確保されるものではありません。
<b>ウ その他の内容</b>		
1	移転をしても（羽沢小と大沢台小の）学区は変わらないか。	羽沢小のみの移転の際は学区は変更しない方針ですが、詳細は、大沢台小の今後の在り方を踏まえ検討していきます。
2	羽沢小の外壁修繕はできないと聞いた。今の児童を疎かにしないでほしい。	雨漏りや設備の不具合など必要となる修繕の対応を検討していきます。
3	財源をどう確保し、税金をどう使うのか示してほしい。	今後計画が具体化した段階で、皆様にお示ししていきます。
4	市が活用する場合でも自然公園なども選択肢では。	ご提案のような整備も可能と考えますが、市としては、国立天文台の安全な高台に、緑の保全に配慮した小学校を移転することで、大沢地域全体の課題解決に資するまちづくりに生かしていきたいと考えています。
<b>(2) 野川周辺の水害時避難に関すること</b>		
<b>ア 肯定的な内容</b>		
1	羽沢小学童保育所に勤めていた。大雨が降った時、あっという間に水位が上がり恐怖を感じた。羽沢小は早期に移転すべき。	安全な学校、安全な避難所の早期整備に取り組んでいきます。
<b>イ 慎重・否定的な内容</b>		
1	野川南側（右岸）の住民は災害時に増水している野川を渡って避難するのか。	引き続き、市内や隣接市（味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザ等）の避難所への早期避難を呼びかけていくとともに、安全な高台への避難所の早期整備を進めていきます。
<b>ウ その他の内容</b>		
1	野川南側（右岸）に避難所を考えていただきたい。	野川南側の公共施設として大沢コミュニティ・センターがありますが、風水害時の避難所として位置付けできないこと、老朽化の課題等もありますので、地域の皆様のご意見もお聴きしながら、今後の在り方を検討していきます。
2	河川整備で対応すべきではないか。	都は調節池の整備を進めていますが、河川整備等のハード整備だけでは対応は困難です。
3	調布市の避難所に避難することはできないのか。	災害時の協定を締結していますので、調布市の避難所をご利用いただけます。
<b>(3) 商業施設の誘致に関すること</b>		
<b>ア 肯定的な内容</b>		
1	商業施設が誘致されることを期待している。	商業施設誘致は、地域の皆様から多くの要望をいただいています。今後、跡地利用において詳細を検討していきます。
2	地域の人のためだけでなく大きな駐車場のあるスーパーが必要では。	今後、商業事業者等へのヒアリング調査等を行い、地域にふさわしい商業施設を検討していきます。
3	他市から集客できれば三鷹市の収入にもなる。	商業施設の誘致により、小学校移転の財源とすることなども検討していきます。
4	スーパー移転のテナント候補はあるのか。	現時点で具体的な検討はしていませんが、今後、商業事業者等へのヒアリング調査等により詳細を検討していきます。
5	（商業施設の誘致は）市もよく考えた計画のため、（跡地利用の検討では）民間に売り渡して終わりはやめてほしい。	現時点で具体的な検討はしていませんが、今後、商業事業者等へのヒアリング調査等により詳細を検討していきます。
<b>イ 慎重・否定的な内容</b>		
1	商圏的にも出店リスクが高いのでは。実現性をどこまで検討しているのか。	実現に向け、商業事業者等へのヒアリング調査や用途地域の見直しも含めて検討していきます。
2	大沢にスーパーはないが、調布側に約500m行けばスーパーがある。スーパーを誘致するために小学校を移転するのか。	市としては、高台への移転による安全・安心な学校・避難所整備に取り組んでいきます。また、跡地利用の検討では、地域課題である商業施設の誘致にも取り組んでいきます。
<b>ウ その他の内容</b>		
1	スーパーについての住民意見を聞き入れてもらえるのか。	皆様のご意見・ご要望もお聴きしながら検討していきます。
2	大沢台小の跡地にもスーパーの誘致は考えているのか。	大沢台小の移転は現時点で未定のため、引き続き、地域の皆様の意向をお聴きしながら検討していきます。
3	商業だけでなく、図書館や大沢コミセンを含む文化の再構築も検討してほしい。	まちづくりの目標として掲げた、「天文台の森を次世代につなぐ学校を核とした新たな地域づくり」に向け取り組みます。
<b>(4) その他</b>		
1	今後の大沢コミセンをどうするのか、考えていただきたい。	住民協議会の皆様のご意見も踏まえ、今後庁内で検討していきます。